

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	ビジネス法規		
担当者(Instructors)	今西 昭一	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

みなさんがビジネスパーソンとしてスタートするとすぐに直面することは、ビジネス活動における法律知識です。企業活動におけるビジネス法規は、ビジネスのフレームワーク部分であり、その概要を知ることは重要です。授業ではビジネス関連法規について具体的・実践的な事例を踏まえながら解説していきます。また、ビジネスパーソンとして働くにあたって、知っておきたい労働法についてブラック企業等の実際の事例をもとに、どのように働くのか?、どこに注意するのか?を解説します。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式でおこないます。講義終了後、毎回の課題・感想・質問の提出で出席とします。質問は、次回共有して説明します

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	講義の計画・進め方等を解説します	<input type="checkbox"/>
第2回	会社と法律	会社とは法律の視点から見ると、どのような構造になっているかを解説します。併せ、企業を取り巻く法律体系の概要をCSR、コンプライアンス、リスクマネジメントの観点から解説します	<input type="checkbox"/>
第3回	民法の基本	民法総則のうち、契約について解説します	<input type="checkbox"/>
第4回	債権・物権の知識	会社の資産である債権・物権の基礎知識を整理します	<input type="checkbox"/>
第5回	会社とはなにか①	株式会社の機関について具体的な構造を解説します	<input type="checkbox"/>
第6回	会社とはなにか②	株式会社の資本にスポットをあて、資本市場の構造も踏まえ解説します	<input type="checkbox"/>
第7回	会社とはなにか③	株式会社の資金調達、取引に関わる諸課題を解説します	<input type="checkbox"/>
第8回	企業活動を取り巻く法律	企業を取り巻くステークホルダーとの関係を法律面から解説します	<input type="checkbox"/>
第9回	企業と従業員①	企業とそこで働く人の関係を労働契約、労働時間、休日を法的側面から整理します	<input type="checkbox"/>
第10回	企業と従業員②	企業の人事権と諸課題(配転、出向、転籍、懲戒、解雇)および有期労働契約について整理します	<input type="checkbox"/>
第11回	企業と従業員③	賃金、労働保険、社会保険について基礎知識を解説します	<input type="checkbox"/>
第12回	企業と従業員④	いわゆるブラック企業、各種ハラスメントについて解説します	<input type="checkbox"/>
第13回	会社で働くにあたって	実際に会社で働くとは?について、実務の観点から整理します	<input type="checkbox"/>
第14回	知的財産その他	知的財産について解説します	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	いままでの総括をします	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前: 次回のキーワード(講義内で示します)について、2時間程度調べて授業に参加してください(例: キーワードに関連するニュース)  
事後: 講義内容を再度確認し、各自興味をもった内容について2時間程度調べて課題作成すること

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題は、まとめて翌週フィードバックし、全体で共有する機会を持ちます

## ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	ビジネスの現場で出た際に、直面する課題等について、法的側面から整理できる

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> 適時、簡単な課題・小テストを実施します				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ビジネス常識としての法律 (第3版) 日経文庫	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		